

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-186136

(43) 公開日 平成7年(1995)7月25日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 2 8 D	1/14			
B 2 3 B	45/14			
E 0 4 G	21/14			

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平5-354948

(22) 出願日 平成5年(1993)12月24日

(71) 出願人 391066537

赤木 住夫

和歌山県新宮市浮島3番32号

(72) 発明者 赤木 住夫

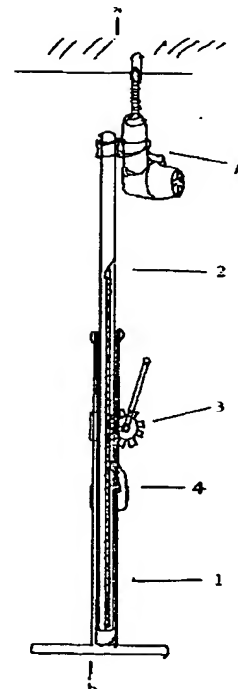
和歌山県新宮市浮島3番32号

(54) 【発明の名称】 建築 コンクリートスラブにアンカー穴空け 及び天井面の穴空けに対する振動ドリル類及びドリル類を押し上げる押し上げ機で及びその製造方法

(57) 【要約】

【目的】 建築 コンクリートスラブにアンカー穴空け及び天井面の穴空けを体と腕の力を使わず振動ドリル類及びドリル類押し上げ機で穴を空ける。

【構成】 ボール1の中にパイプ2が入っておりボール1に付けて有る歯車3とパイプ2にきだんである凹凸の噛み合いによりパイプ2が上下しパイプ2の先端に振動ドリル類及びドリル類を取り付ける。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ボール（1）の中にパイプ（2）が入っておりボール（1）に取り付けてある歯車（3）のハンドルを回すとパイプ（2）に切断である凹凸の噛み合いでパイプ（2）が上下しパイプ（2）に取り付けた振動ドリル類及びドリル類により天井 スラブに穴を空ける。振動ドリル類及びドリル類にパイプ（2）が回されないように回され止めの板（4）がボール（1）に付けてある。

【請求項2】 請求項1に記載のボール（1）とパイプ（2）を短くしボール（1）の下にアーム（5）を付け自分の肩にのせる方式

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は建築コンクリートのスラブにアンカー用穴空け及び天井面に穴空けに対する振動ドリル類及びドリル類を押し上げる押し上げ機で、この製造方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の建築でコンクリートのスラブにアンカー用穴空け及び天井面に穴空けは振動ドリル類及びドリル類を体と腕の力で支え押し上げ高い場所ではキャッツの上に上り作業をする。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来建築でコンクリートのスラブにアンカー用穴空け及び天井面に穴空けは振動ドリル類及びドリル類を体と腕の力で支え引力に逆らって押し上げるため腕の疲れが早く、高い場所ではキャッツの上に上り安定が悪い。

【0004】本発明はコンクリートのスラブにアンカー用穴空け及び天井面に穴空を体と腕の力を使わず振動ドリル類及びドリル類押し上げ機にて穴を空けることお目的としておりキャッツを使わず又肩に乗せる法方などを製造提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】上の目的を達成するために本発明の振動ドリル類及びドリル類押し上げ機はボールの中にパイプが入っておりそのパイプを上下させるためパイプに凹凸のきだみと溝を付けボールに歯車を取り付け噛み合いで上下する。振動ドリル類及びドリル類車に回されないための回され止めの板などである

【0006】上記の場合いでは床より上であるが自分の肩に乗せた場合い肩に乗せるアームが付きボールとパイプは短くなる。

【0007】

【作用】上記のように構成された振動ドリル類及びドリ

2

ル類押し上げ機はボールを垂直に床に立て歯車のハンドルを回すことでパイプを押し上げ、振動ドリル類及びドリル類がスラブ及び天井面に穴をもみ、空ける。押し上げる力は床にかかるので体と腕はボールを垂直に保ちハンドルを回すだけ。

【0008】上記はボールを床に立てるが肩に乗せる方式でもボールに付けてあるハンドルは肩より低く付けてあるので腕が楽、ドリルに回されるのも体で止めれるので楽、持ち運びもボールが短いので楽。

【0009】

【実施例】実施例について図面を参照して説明すると、図1に示す実施例では押し上げ機を縦にa～bに向かって割った図でボール1の中にパイプ2が入っておりボール1に付けてある歯車3のハンドルを回すとパイプ2にきだんである凹凸と噛み合いパイプ2が上下する。その先に付けてある振動ドリル類及びドリル類Aによりスラブにアンカー用穴空け及び天井面にの穴空けができる

【00010】図2に示す実施例では肩に乗せる方式で押し上げ機を縦にa～bに向かって割った図で仕掛けは図1と同じ

【00011】

【発明の効果】本発明は以上説明ように構成されているので以下に記載されるような効果を奏する。

【00012】振動ドリル類及びドリル類押し上げ機によりスラブにアンカー用穴又天井面の穴空けは請求1の床に立てての場合には、体及び腕にかかる力を床にかけボールに付けた歯車とパイプの凹凸より押し上げる力は大きくなり人のいる力はボールを垂直に保ち小さな力でハンドルを回すだけ、直接床に置くのでキャッツなど無くてもすむ。

【00013】振動ドリル類及びドリル類押し上げ機の請求2においては床に置くのを自分の肩に乗せておこなう方式でボールは短くて持ち運びが楽で押し上げる力も請求1と同じ。

【図面の簡単な説明】

【図1】振動ドリル類及びドリル類押し上げ機のaからbにて縦に切った断面図

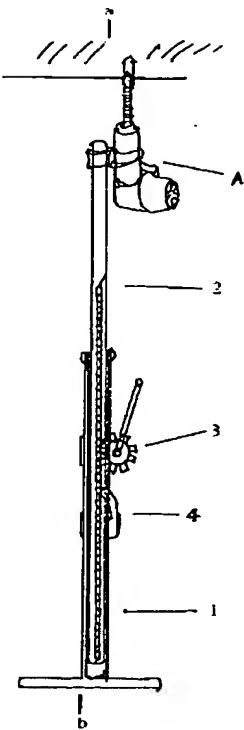
【図2】肩に乗せておこなう方式で押し上げ機のaからbにて縦に切った断面図。

【符号の説明】

A振動ドリル類及びドリル類。

- 1 ボール。
- 2 パイプ。
- 3 歯車とハンドル
- 4 回され止め板
- 5 肩掛けアーム

【図1】



【図2】

